

平成 16 年度 第 2 回 和光市図書館協議会会議録

日 時	平成 16 年 12 月 2 日
場 所	和光市図書館 会議室
出席者 委 員	(委員長) 本橋 喬
	(副委員長) 迫 雅子
	豊哲男、松原延子、佐々木元子、武田真知子、小池咲子、川嶋一美
	(欠席者) 渡辺 博、本橋 晃
傍聴者	0 名
委員長	ただ今から、第 2 回の図書館協議会を開会いたします。 早速議事に入りたいと思います。議案第 1 号、平成 16 年度上半期実績報告について、事務局から説明をお願いします。 (事務局より、議案第 1 号について説明、添付資料の通り)
委員長	ただ今、実績報告がありました。何か質問はありませんか。
豊委員	テーマ別団体貸出についてですが、以前と比べるとだいぶ増えたような気がするのですが、その理由について、教えてください。
事務局	今までは、同じ先生が、利用していたのですが、だんだんと他の先生方にも、この図書館サービスが浸透してきているようで、多くの先生方が利用してくださっています。 テーマ別団体貸出という図書館サービスを知らない先生もまだまだいるようですので、年度当初に、書類を図書主任に送り、宣伝しております。表の中に、4 件ほど図書館アドバイザーが借りている場合がありますが、図書館アドバイザーを通じて、団体貸出を受けているということです。いずれにしても、和光市の図書館には、このようなサービスがあるということ、周知していくことが図書館の努力かと思えます。
松原委員	貸出冊数で中央公民館が他の公民館に比べて、極端に少ない。これは、単に、この本館に近いということなのか、それとも、蔵書数が少ないからなのでしょうか。
事務局	今のご発言のように、本館に近いということも、理由のひとつかと思えますが、もうひとつは、図書室の位置もあると思えます。公民館の一番奥に図書室があるものですから、図書室の存在を知らない利用者もいると思えます。公民館の方で図書室についての掲示を工夫することが必要かなと思えます。それと、中央公民館には、美術の本が配架されていますので、その場で見えてしまうため、貸出数が少ないのかもしれない。
迫委員	リサイクルの棚の近くに掲示するというのはいかがでしょうか。
事務局	中央公民館と相談していきたいと思えます。
川嶋委員	図書館の事業の中で、「子どもための読書会」と「絵本とおはなしの会」というのがありますが、この辺の違いについて。
事務局	「子どもための読書会」は対象が小学生で、「絵本とおはなしの会」は対象が幼児からというようになっています。また、その内容は、「子どもための読書会」はテーマを決めて、それを解決するために、様々な本を紹介しながら、本を読み進めていくような内容です。「絵本とおはなしの会」は、絵本の読みきかせとおはなしを中心にしています。

豊委員	実績報告にはふれていませんが、図書館と学校のオンライン化が着々と進んでいるわけですが、その辺のことについて、何か、報告することがありましたら、お願いしたいと思います。
事務局	資料はありませんが、説明いたします。今年度より、図書館と学校をオンラインで結び、各学校に図書館と同じシステムを導入しました。4月から8月までに各校の所蔵図書の登録作業をしました。本1冊ずつのデータのことをマークといいます。このマークについては和光市図書館が持っているマークを使用して登録をしています。大変な作業ですが、図書館アドバイザーの努力によるものです。また、本の貸出をするにあたって、利用者の学校での登録をして、9月より貸出を行っている学校があります。このような図書館と学校との連携の形は、県内でも和光市が初めての試みと聞いておりますので、充実させていきたいと考えます。
委員長	他にございませんか。内容でしたら、議案第1号について異議はありませんか。（異議なしの声）
委員長	議案第1号については承認いたしました。 次に、議案第2号について、図書館運営上の今後の課題について、事務局より説明をお願いします。
事務局	説明いたします。図書館の利用者については、土・日には千人を超える利用者があります。その中で、これからも問題と考えているのは利用者サービスです。その点について、いろいろな要望や窓口サービスを行っているカウンターでトラブルがありますので、11月25日に接遇研修を職員とカウンターの職員を含めて行いました。いろいろと日夜努力はしていますが、さらに何かしなければいけないのと思いますので、不足の点などありましたら教えていただければと思います。
委員長 豊委員	利用者への対応について、何かありましたらお願いします。 私が図書館を利用するときには、一つには借りる本が決まっている場合、それともう一つは、調べものなどのレファレンスを求める場合があります。そのレファレンスについてですが、図書館の職員として一番重要なことは、利用者の要望にどれだけ応えられるか、対応できるかだと思うのですが、レファレンスに関する研修等については、日常的にどのようにやっているのか、教えていただけたらと思います。
事務局	これについては、館内整理日に、共通理解を図るためのミーティングを行っていますが、その中にレファレンス研修も含めています。レファレンス力の質的な向上を目指していますが、なかなか時間が足りないというのが現実です。その他にも、レファレンス記録票というのがあり、職員が受けたレファレンスを記入しているのですが、各自、時間があるときに見て、資質の向上を目指しております。加えて、コンピュータ上で調べるシステムもありますので、これを使いこなせると、レファレンス力を補えますので、日常の業務の中で、資質の向上を目指しています。
豊委員	館内整理日にミーティングの中で短時間でもできるということなので、その積み重ねで、そこそそ研修として実践が積み重ねられると思うのですが、もし、可能ならば、例えば、午前中、1時間でもいいから窓口とかでないところで、レファレンスの業務を一定時間設定し、自分なりに研修するなり、専門の方に教えてもらうなり、計画的に研修を設定してはどうでしょうか。

事務局	図書館の中には、事務室内に庁舎の職員と非常勤職員、カウンターに、文化振興公社の職員とパート職員の4種類の職員がいます。カウンターの職員と事務室内の職員とが一緒に仕事をするすることがあり、その時に、図書館にはどういう本があるのか、どんな分野の本があるのかなど、本の整理をしています。この時が、和光市図書館の本についての知識を蓄えていくときではないかと思えますので、そうした作業を庁舎の職員と公社のパートが協力しあうような作業の計画を多くしていくことも、レファレンス力の向上への道かと考えます。
川嶋委員	今のレファレンスのことなんですが、1日に本当のレファレンスはどのくらいあるものなのでしょうか。
事務局	ほとんどありません。職員にとって、研修になるような質問がないのです。レファレンスカウンターで答えられないときは、事務室内の職員が対応するようになっています。
迫委員	例えば、入口から入ったすぐのところに、講座があったときの参考資料が展示されていて、参考図書を紹介したプリント資料がありますが、そのような資料は過去に遡って事務室にあるのでしょうか。
事務局	今まではFD管理でしたが、今は、図書館の共通データに保存しておくように指示しています。
迫委員	少人数で夜遅くまで頑張っているの、難しいことかもしれませんが、職員の人数が増えるということはないと思いますが、人員の確保と同時に施設の向上とか、レファレンス力の向上というのがあれば、私は毎日でもたくさんお尋ねしたいというのが現状です。
委員長 事務局	ほかにありますか。なければ、次のインターネット予約について。インターネット予約については、今年度中に実施できるように進めています。朝霞地区4市の中で、和光市は出遅れていますので、これから進めていきたいと考えています。
豊委員	練馬区の方でも今、インターネット予約が出来るので、行って予約して、電話がかかってくるという手間が省け、便利だなと思います。特に、電話をするというのは、職員の労力と時間の無駄だという気がする。実際、私の名前で予約したのが携帯のメールにはいるので、すぐに借りに行くことができる。そういうシステムがあるのかどうか。
事務局	今までの予約の方法については、そのまま、続行するわけですけれども、新たにインターネットの予約をするということになりました。まだ、決定していないので、4市の方法とも合わせ、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。
委員長	他にありませんか。なければ、次の館内整備の充実についてお願いします。
事務局	和光市図書館に入ったときに、他の図書館と比べても、見た感じは決して劣らないというような感じはあると思うんですが、建物そのものについては、本当に限られたものですが、有効利用ということで何かみなさんのご意見があればお願いしたいと思います。
武田委員	エレベーターですが、急いでいるときなど、階段で上がった方が早いかなと思うのですが、今後変えることはないのですか。
事務局	エレベーターについては、この建物ができたときに設置されたもので、私も来たときにあまりにも遅いので、業者に見てもらったところ、地下を掘るとか、上に伸ばすなどの大工事をしなければならぬということで、予算的には、建物を立て替えるぐらいの費用がかかるということで、あきらめました。スピードが変えられないということで、エレベーター内に、新しく入った本のコーナーを設置し、読みながら過ごしてもらおうと考えています。
委員長	他になければ、館内設備の充実について、終わりたいと思います。

武田委員	<p>次にその他として何かありますか。</p> <p>私は、和光市に来て、もう10年位経つのですが、和光市の図書館がどこにあるのかわからなかった。駐車場も駐輪場もないという、サミットの駐車場を利用すると、何か買って帰らなければと思ったり、時間が気になって、本を早く探さなければならぬという不便さがあります。図書館がここだけで終わっていいのか、それとも、喫茶室などがあるような、大きな図書館が和光市にはできないのかなと思っているのですが。そういう声も市の方に上げてもらいたいのですが。</p>
委員長	<p>私たちの考えでは、やっぱりこれぐらいの市だから、独立した図書館があってもいいと思う。今駐車場があれば駅から遠くても大丈夫。調整区域なら、1坪17～8万円で買えるから、何とか目安ぐらい立ててもらいたいと教育長には言っておいたのですが。</p>
武田委員	<p>そういった声をもっと市民の声が上がらなければいけないと思うので、そういう呼びかけもいろんな形でしていけたらいいのかなと思います。こういう場でどんどん話し合っ、具体的にどうしたらいいか、それが何年先になるかわからないけれども、ここから声が出たんだというそういう協議会であってほしいと思います。これだけ人口が増えたんだから、やっぱり声を上げていかなければならない、そういう時期かなと思います。</p>
事務局	<p>とてもありがたい意見だと思います。今、おっしゃった意見をこれから何回か協議会を開いていく中でまとめ、委員長に答申としていただき、また、それを元に私たちの方で、教育長または市長に話をしていきたいと思ひます。</p>
委員長	<p>そのほかありませんか。</p>
委員長	<p>「なし」という声あり。 異議なしと認め、議案第2号については承認いたしました。 以上で、本日の図書館協議会を終わります。</p>